



こんにちは  
横浜市議員

日本共産党

週刊ニュース

古谷やすひこ

古谷やすひこ事務所

2014. 10. 1号

日本共産党鶴見区委員会内

横浜市鶴見区潮田町2-120-2

電話 504-5121 FAX 504-7331

ブログ:「古谷やすひこ」で検索を

2013年決算特別委員会 岩崎ひろし議員が市長に質問

## 身近な生活道路に冷たい横浜市の道路行政

2013年決算特別委員会が始まり、26日には林文子市長出席のもとで第一・第二委員会が合同で審議する総合審査が行われました。岩崎ひろし議員は、日本共産党を代表して、アベノミクスを推進する国の下請け機関化している横浜市の姿を道路問題から浮き彫りにするとともに、住民本位の道路行政を行うよう、林市長にせまりました。

2009年度と2013年度を比較すると、高速道路費用が101から234億円へと2.3倍に増えたのに対して、横浜環状道路を除く道路整備費は約36%減少しています。また、横浜市が毎年行っている市民意識調査では、毎年身近な道路整備に関する要望が上位を占めています。

岩崎議員はこれらの事実を示し、市長は「高速道路も、生活道路も重要」と答えているがどちらも重視してきたと言えるのかと質しました。それに対して林市長は、根拠も示さず、「どちらも重視をしてきたと思っている」と答えるにとどまりました。



総合審査で質問する岩崎議員  
9月26日、横浜市会棟大会議室

### 横環南線、土地の取り上げは許されない

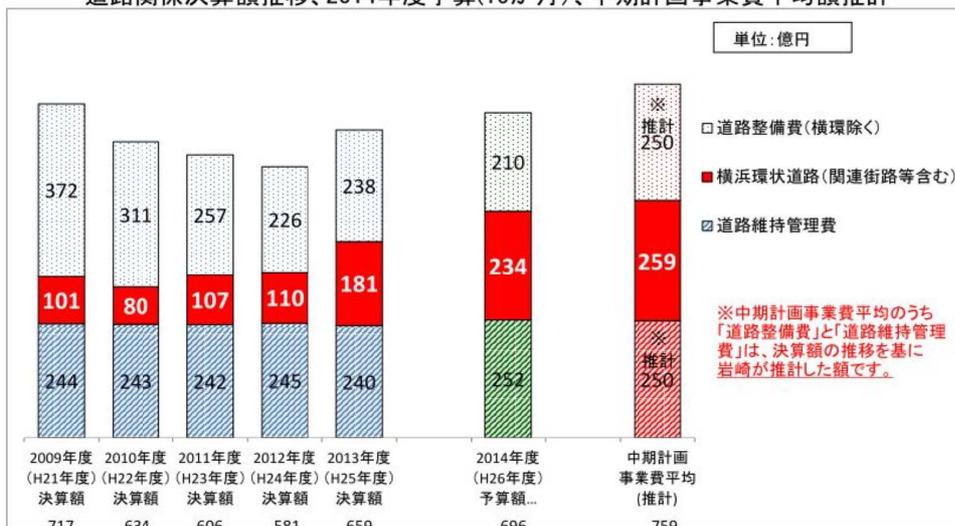
国土交通省は今年4月、高速横浜環状南線の開通を東京オリンピック開催の2020年と公表。それに間に合わせるため、土地を地権者の意志を無視して取り上げる土地収用法の手続きや調査用工事を、地域住民の反対を無視して強行しています。

岩崎議員は、事業開始後27年経過した今でも沿線住民の理解は得られておらず、あと5～6年で完了できるような状況ではないと指摘。まだ3割以上の用地取得が終わっていない現在の状況で、

無理やり土地を取り上げるような強権発動は許されないとして、住民の理解を得る努力を重ねるといふ方針を守る意志があるのか、市長に問いました。

林市長は、「土地所有者等の権利者にはわかりやすく丁寧な説明、粘り強い交渉により理解いただけるように努める」と答える一方、南線は「横浜市の国際競争力、防災力の強化、早期に道路ネットワークを整備することは大変重要」と強調しました。

道路関係決算額推移、2014年度予算(15か月)、中期計画事業費平均額推計



注1) 2014年度予算額は、2013年度2月補正予算のうち「経済・市民生活対策補正」を含む、いわゆる15か月予算です。  
 注2) 予算の「項」をベースとした集計であり、道路整備費に橋梁老朽化対策や耐震対策など道路施設の保全に関する予算を含みます。  
 注3) 2013、2014年度の「橋りょう等維持費、トンネル補修費」を2012年度以前に合わせて道路維持管理費で計上しています。  
 注4) 2014年度の歩道橋長寿命化及び耐震対策推進事業費、交通安全施設補修費、路面下空洞調査事業費、道路がけ防災対策事業費は、2013年度以前に合わせて道路維持管理費で計上しています。  
 注5) 億円未満を四捨五入しているため、合計が合わない場合があります。